



弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>



伝統をつないだ！
弓削高運動会！

運動会実施！

9月10日に令和3年度運動会を開催しました。今年度は残念ながら無観客での開催となってしまいましたが、例年と変わらず気持ちと熱のこもった練習や準備が行われていました。何事にも一生懸命取り組む弓削高の伝統が繋がれた運動会になったと思います。ダンスリーダーの北舛さんにダンスの感想を聞くと「レベルの違いがある中で練習を組み立てていくことが難しかった。本番は男子や先生が盛り上げてくれたので楽し



めた。」と答えてくれました。エッサッサ団長の太谷さんは「日々の練習はきつかったが、いかに魅せられるかを考えながら練習できた。最高のエッサッサができた。」と話してくれました。

ゆめしま未来塾（公営塾）

の講師による授業

9月24日、3年生Ⅱ型のコミュニケーション英語Ⅲの授業に、「ゆめしま未来塾（公営塾）」の雫石先生を講師としてお招きしました。「何のために英語を勉強し、何のために仕事をするのか」を講師の視点と経験をもとに話していただくことによって、漠然と持っていた将来像を明確に考えることができました。「先生は、自分の目標に向け、努力し成果を出していて、私も見習いたいと

思った。また、『自分のほしい未来』を考えることで、自分がどんな人になりたいのかが明確になったように感じた。将来、私も『働くことの意味』を見つけ、働くことを楽しみたい」と佐伯さんが話してくれました。



島親募集！

チームで休日に食事等の面倒を見ていただける皆さまを募集します

連絡先 ☎ 77-2021

弓削高校 教頭 渡邊



弓削商船高等専門学校

<https://www.yuge.ac.jp/>



リモートオープンキャンパスを開催！

第2回オープンキャンパス開催

9月12日（日）、令和3年度第2回オープンキャンパスをリモート開催しました。

午前と午後に、計2回の配信を行い、約75名（延べ視聴者数）の方が参加されました。



当日は、全体説明ビデオおよび学生による本校の紹介ビデオの配信、各学科や本校の特徴・魅力についての説明、チャットに寄せられた質問への回答を行いました。

なお、本校では11月6日（土）、

7日（日）に3回目のオープンキャンパスを開催予定です。今後詳細はオープンキャンパス特設ページで発信していきますので、定期的にご確認ください。

オープンキャンパス
詳細はこちら⇒



商船学科卒業式・専攻科修了式を挙

9月25日（土）、令和3年度商船学科卒業式・専攻科（海上輸送システム工学専攻）修了式を挙行し、卒業生37名および修了生3名が学び舎を後にしました。

石田校長から「海事に根付いたこの地域で、海を身近に感じながら有意義に過ごした学生時代は、海事社会の中で活躍していく際、有形無形で皆さまに味方してくれま

す。先輩、後輩、同級生の人的ネットワークをぜひ大切に、母港である弓削商船にいつでも寄港してください」と式辞が述べられ、卒業生・修了生は引き締まった表情で聞き入っていました。

最後に卒業生一同が登壇礼を実施し「ごきげんようー！」の掛け声とともに、全員の制帽が美しく宙を舞いました。弓削商船高専の卒業生・修了生としての誇りと使命を胸に新しい人生行路へと出航しました。



「活用可能な空き家」の洗い出しを主な目的として、上島町内の全家を対象に実施した実地調査が、本年7月29日の上弓削区内での調査を最後に完了しました。この調査は、昨年の8月17日に生名地区から調査を開始し、およそ1年をかけ断続的に実施してきました。全体をとおして調査対象とした家屋の数は3577戸となり、このうち820戸（22.9%）を「空き家」とであると判断しました。

空き家はなぜ移住希望者に貸し出されないのか？

おける「移住者が住むことができる住居の不足」です。上島町は、移住・定住希望者に「空き家」とその所有者を紹介する「空き家バンク」制度を運用しており、私たち協力隊が担当しています。「空き家バンク」では、移住希望者に紹介することのできる空き家が不足しており（令和3年8月末日現在で19戸）、特にそのまますぐに移住者が住むことのできる「空き家」が、ほとんどありません。そこでまず、町には今、いったいどれだけの「空き家」が存在しているのか、そしてそれら「空き家」はなぜ活用されないままの状態になっているのかを明らかにするため、町内全戸を対象とする調査を開始しました。

私はこの調査を、上弓削区、下弓削区、佐島区、生名地区、岩城地区、魚島地区と、地区／区ごとに分割して実施してきました。この調査では、自治会役員の方々に協力依頼し、事前に地区長など役員の方々に話をうかがい、地域内で把握されている「空き家」を教えてくださいました。お話しをうかがった役員の方々に、調査終了後に地区／区ごとの報告書をお渡しさせていただきました。

▼上島町 空き家実態調査 地区／区ごとの調査結果

地区／区	調査日程 (延べ日数)	調査戸数	居住実態のある戸数 (%)	「空き家」戸数 (%)
上弓削区	令和3年 7/12～7/29 (5日)	411	313 (76.2%)	98 (23.8%)
下弓削区	令和3年 1/18～2/24 (17日)	908	697 (76.8%)	211 (23.2%)
佐島区	令和2年 10/27～11/30 (7日)	339	260 (76.7%)	79 (23.3%)
生名地区	令和2年 8/17～9/23 (14日)	839	689 (82.1%)	150 (17.9%)
岩城地区	令和3年 4/20～5/17 (6日)	901	728 (80.8%)	173 (19.2%)
魚島地区	令和2年 12/18～12/25 (3日)	179	70 (39.1%)	109 (60.9%)
計	令和2年8/17 ～令和3年7/29	3577 100.0%	2757 77.1%	820 22.9%

※公営住宅、官舎、学生寮、社員寮等、集合住宅の戸数を含まない。
※岩城地区については、令和2年度の田邊真希隊員調査を再調査。

ている理由をうかがうことができた。①「盆・正月に子や孫、親戚が帰ってくる」②「子が定年後に住むと言っている」③「家財道具をたくさん置いている」④「仏壇・位牌がある」⑤「住むには改修が必要だ」⑥「相続登記をしていない」⑦「手続きが面倒」⑧「いったん貸したら返ってこないのではないか」など、さまざまな理由がありました。解消が非常に難しいと思われる理由もありましたが、なかには、何とか工夫をすれば解消でき

そうに思えたものもありました。私は今、町内にある「空き家」の活用を実現させるためNPO「かみじま町空き家よくし隊」の設立を準備しています。協力隊として、またNPOのメンバーとして、「空き家」の老朽化を遅らせ、また「空き家」の活用を目指して、町内にある一軒一軒の「空き家」と向き合っていこうと思います。今後の活動についてもこれまで同様、温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。



空き家の調査を完了しました

企画情報課
島おこし協力隊
平田 浩司

